



雨の中でも力強く(第42回小平市民まつり)

平成29年9月定例会は、9月5日から29日まで25日間の会期で開催されました。

この定例会では、平成29年度一般会計補正予算(第3号)など27件の市長提出議案を可決・同意しました。議員提出議案は、主権者の政治参加を促進するため、国政・地方選挙における高額な供託金制度の見直しを求める意見書1件を可決し、1件を閉会中の継続審査としました。請願は2件を閉会中の継続審査としました。

なお、定例会最終日に提出された平成28年度決算の認定議案については特別委員会を設置し、閉会中の継続審査としました。

また、9月6日から3日間にわたり、26人の議員から58件の一般質問がありました。

9月定例会

平成29年度一般会計補正予算(第3号) など28議案を可決

—平成28年度決算審査のための特別委員会を設置—

議会を傍聴
しませんか?

今後の

市議会の日程(予定)

開会時刻

原則として午前9時

場 所

市役所7階

傍聴される方は、
議会事務局へ
お越しください。

10月30日(月) 都市基盤整備調査特別委員会(※1)
11月 1日(水) 総務委員会
11月 2日(木) 生活文教委員会(※1)
市民と議会の意見交換会(※2)
11月 4日(土) 市民と議会の意見交換会(※2)
11月 6日(月) 厚生委員会
市民と議会の意見交換会(※2)
11月 7日(火) 環境建設委員会(※1)
11月13日(月) 公共施設マネジメント調査特別委員会(※1)
請願陳情締め切り(午前中)(※3)

11月22日(水) 議会運営委員会(※4)
11月28日(火) 12月定例会本会議(初日)
11月29日(水) 12月定例会本会議(一般質問)
11月30日(木) 12月定例会本会議(一般質問)
12月 1日(金) 12月定例会本会議(一般質問)
12月 5日(火) 総務委員会
12月 6日(水) 生活文教委員会
請願陳情締め切り(午前中)(※5)
12月 7日(木) 厚生委員会
12月 8日(金) 環境建設委員会
12月12日(火) 広聴広報特別委員会

12月15日(金) 議会運営委員会(※4)
12月20日(水) 12月定例会本会議(最終日)
広聴広報特別委員会(※4)
1月16日(火) 広聴広報特別委員会
1月17日(水) 都市基盤整備調査特別委員会
1月18日(木) 公共施設マネジメント調査特別委員会
(※1) 当日は現地視察を予定しており、委員会室での議案や請願などの審査または調査はありません。
(※2) 詳細は8面をごらんください。
(※3) 12月定例会初日上程の受け付け期限です。
(※4) 開始時間については、議会事務局にお問い合わせください。
(※5) 12月定例会最終日上程の受け付け期限です。

日程、開会時刻等は変更や追加になる場合もありますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

主な議案

可決、同意した議案から主なものをお知らせします。

平成29年度一般会計補正予算（第3号）

本補正予算は、平成28年度の決算をもとに、繰越金の整理等を行うとともに、歳入では普通交付税及び臨時財政対策債が当初の見込みを上回ったので増額するものです。また、これに伴い確保される財源を活用し、市の喫緊の課題である保育園待機児童の解消等に取り組むほか、基金積立金を増額し、財政基盤の安定化を図るものです。

歳出の主な内容としては、待機児童の解消に向けて、平成30年度に新規開設する小規模保育所1園の建築補助を行うほか、保育士等キャリアアップ補助を増額します。また、小平第五小学校及び花小金井小学校の増築等工事とこれに併せて整備する学童クラブ室新設工事の工事費を増額するほか、健康センター及び中央図書館の照明器具や公園灯のLED化修繕、市道の改修工事等を行います。さらに、学校給食センターの更新に向けて、調査・測量を実施します。

補正額としては歳入歳出をそれぞれ14億8千4百76万5千円増額し、総額を6百34億3百5万6千円とします。

財源構成としては、事業の実施に伴い、国、都支出金及び地方債を補正するとともに、繰越金、普通交付税及び臨時財政対

策債、特別会計繰入金を増額します。

小平市リサイクルセンター設計・建設工事請負契約の締結

小平市リサイクルセンター設計・建設工事の実施に伴う工事請負契約を締結する必要から提案するものです。

入札については、価格と品質で最もすぐれた者を落札者とする総合評価一般競争入札方式により行い、その結果、価格点及び技術点の合計点が最高点となった大原鉄工所・山口建興・ダイエープロビス建設共同企業体が消費税込み13億5千万円で落札し、仮契約を締結しました。

工事内容は、平成5年に建設した小平市リサイクルセンターの老朽化による西側広場への建てかえ工事で、ビン処理設備が1日当たり12・6トン、カン処理設備が1日当たり5・6トンの施設規模の工事です。

応募事業者は4グループあり、そのうち1グループは辞退したため3グループによる競争となりました。落札者の決定方法は、今回の工事が技術的な工夫の余地が大きい工事であることから、技術提案をもとに技術点を評価する技術提案型総合評価一般競争入札とし、価格点50点、技術点50点を合計した評価値が最も高い者を落札者としています。

価格点は、小平市総合評価方式ガイドラインに準拠した算定式により算出し、技術点は小平市リサイクルセンター整備基本計画における5つのコンセプトに基づいた評価基準表により算出しています。なお、技術点の審査については、専門的な知見

を必要とすることや、公平公正な審査を期するために、外部の有識者を含めた小平市リサイクルセンター建設工事技術提案型総合評価審査委員会を設置して審査を行い、価格点の評価とあわせて競争入札参加者選定委員会で確認の上決定したものです。

◀小平市リサイクルセンター



小平市税条例等の一部を改正する条例

平成29年度地方税制改正及び平成28年に講じられた消費税率引き上げ時期の変更に伴う税制上の措置による地方税法等の一部改正に伴い改正するものです。

主な内容として、個人市民税関係の改正では、①いわゆる住宅ローン減税について、消費税率引き上げ時期の変更に伴い、居住年についての適用期限を2年6か月延長する、②肉用牛の売却による事業所得の課税の特例及び優良住宅地の造成等のために土地等を譲渡した場合の長期譲渡所得に係る課税の特例について、それぞれ適用期限を3年延長する、③配偶者控除及び配偶者特別控除の見直しに伴う、控除対象配偶者の定義の変更による規定の整備を行います。

法人市民税関係の改正では、

消費税率10％段階において、地域間の税源の偏在性を是正し、財政力格差の縮小を図るための措置として、法人市民税法人税割の税率を引き下げるとともに、さらなる国税化を図り地方交付税の原資とするものです。また、これに関連し法人事業税の交付金制度が創設されます。

固定資産税関係の改正では、①家庭的保育事業等の用に供する家屋及び償却資産、企業主導型保育事業の用に供する固定資産並びに緑地保全・緑化推進法人が設置する市民緑地の用に供する土地のそれぞれに係る課税標準の特例措置について、わが

まち特例を導入し、市の特例割合を国の参酌基準と同様の割合で定める、②その他の所要の改正として、災害に関する軽減措置の常設化、居住用超高層建築物いわゆるタワーマンションに係る課税の見直し、耐震改修等を行った住宅の減額措置の拡充に伴い、それぞれの申告方法等に係る規定の整備を行います。

軽自動車税関係の改正では、①消費税率10％段階において、簡素化、負担の軽減及びグリーン化の観点から、廃止となる自動車取得税にかわるものとして、軽自動車税に環境性能割を創設することに伴い、現行の軽自動車税を軽自動車税種別割とする。また、これに関連し自動車税環境性能割の交付金制度が創設され、②28年度末で期限を迎えた軽自動車税のグリーン化特例の見直しとして、特例の対象を重点化した上で、適用期限を2年延長する、③自動車メーカー等による不正行為に起因して、納付不足額が発生した場合に、賦課徴収の特例措置を講じます。

都市計画税関係の改正では、現行の都市計画税の税率を100分の0・24とする特例措置について、適用期限を3年延長し、平成32年度までとします。

そのほか、地方税法及び他の法令の一部改正による引用条項の改正及び文言等の整理を行います。施行期日は、特に定めるもののほか、公布の日です。

小平市が管理する道路に設ける道路標識の寸法等を定める条例の一部を改正する条例

道路法第45条第2項及び道路交通法第4条第5項に基づく、道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の一部が改正されたことに伴い改正するものです。

改正の内容は、省令の改正により案内標識の番号についてずれが生じたこと及び道路の通称名に係る案内標識の表示内容が改められたことにより改正するものです。

施行期日は、公布の日です。

教育委員会委員の任命同意

任期満了に伴う教育委員会委員の任命について同意を求める議案が提出され、次のとおり任命することに同意しました。

三町 章氏

固定資産評価審査委員会委員の選任同意

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める議案が提出され、次のとおり選任することに同意しました。

立川 栄氏

議案に対する各議員の賛否

9月定例会

会派名称略称 公明：市議会公明党（6） フォ：フォーラム小平（6） 政和：政和会（5） 共産：日本共産党小平市議団（4） 生ネ：生活者ネットワーク（4）
（ ）内は各会派の議員数 緑：緑の党こだいら（1…無会派） ムサ：ムサシ（1…無会派）

○：賛成　×：反対　－：欠席　退：退場			議決結果	公明					フォ					政和				共産			生ネ				緑	ムサ	賛成	反対				
区分	議案番号	件名		津本裕子	虹川浩	山岸真知子	浅倉成樹	佐藤徹	幸田昌之	石毛航太郎	小林洋子	滝口幸一	竹井ようこ	中江みわ	吉本ゆうすけ	磯山亮	小野高一	川里春治	永田政弘	宮寺賢一	佐藤充	木村まゆみ	吉瀬恵美子	細谷正	平野ひろみ	さとう悦子			日向美砂子	山崎とも子	橋本久雄	伊藤央
議案 市長提出	第57号	小平市が管理する道路に設ける道路標識の寸法等を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	※議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	25	1

全会一致で議決した議案※

区分	議案番号	件名	議決結果	議案番号	件名	議決結果
議員提出議案	第31号	主権者の政治参加を促進するため、国政・地方選挙における高額な供託金制度の見直しを求める意見書	原案可決			
市長提出議案	第49号	小平市教育委員会委員の任命同意	同 意	第56号	小平市税条例等の一部を改正する条例	原案可決
	第50号	小平市固定資産評価審査委員会委員の選任同意	同 意	第58号	小平市リサイクルセンター設計・建設工事請負契約の締結について	原案可決
	第51号	平成29年度小平市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	第59号	小平市立小平第五小学校増築工事（建築工事）請負契約の締結について	原案可決
	第52号	平成29年度小平市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	第60号	小平市立花小金井小学校増築工事（建築工事）請負契約の締結について	原案可決
	第53号	平成29年度小平市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	第61～74号	市道路線の認定及び廃止（11路線の認定、3路線の廃止）	原案可決
	第54号	平成29年度小平市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	第80号	平成29年度小平市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
	第55号	平成29年度小平市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決			

※ 議長は表決に加わりません。

平成28年度決算
特別委員会を
設置

(市長提案の説明要旨)

平成28年度の決算議案が9月定例会最終日に提出され、議会では審査のための特別委員会を設置しました。特別委員会は10月10日から4日間開催され、いずれの議案も認定すべきものと決しました。今後、12月定例会初日に委員長報告が行われ、その後採決される予定です。

【一般会計】

歳入総額6百31億7千2百87万円、歳出総額6百15億2千9百88万5千円、実質収支は16億4千2百30万8千円となりました。

歳入では、市財政の根幹をなす市税が、個人市民税や固定資産税は増となりましたが、法人市民税が減となり、2年連続して前年度を下回りました。

歳出では、空き家等の実態調査の実施、市民文化会館の施設整備、鈴木町にここの公園の整備、認可保育園の施設整備費の補助、こだいら健康増進プランの策定、都市計画マスタープランの改定、こだいら観光まちづくり協会への補助、公共施設マネジメント推進計画の策定など、小平市第三次長期総合計画に沿った事業を実施しました。

財政力の強さを示す財政力指数や、財政健全化判断比率の1つとなる実質公債費比率等の各種財政指標では、一部に改善傾向が見られるものの、歳入では、市税収入が2年連続で前年度を下

回ったほか、基金残高が減少しており、引き続き厳しい財政運営となっています。

【国民健康保険事業特別会計】

歳入総額2百3億9千7百70万3千円、歳出総額2百1億6千65万7千円、実質収支は2億3千7百4万6千円となりました。

雇用状況の改善による被用者保険への加入や後期高齢者医療制度への移行に伴い、被保険者数が減少する一方で、新薬の保険適用等による医療の高度化が進展した影響を受け、1人当たりの医療費は増加しています。

歳入では、国民健康保険税が前年度に比べ9千百90万3千円、2・5%の増となり、一般会計繰入金金は25億5千万円を繰り入れました。

歳出では、保険給付費が前年度に比べ、9千9百32万5千円、0・9%の減となりました。

【後期高齢者医療特別会計】

歳入総額39億8千8百49万8千円、歳出総額39億3千9百95万9千円、実質収支は4千8百53万9千円となりました。

歳入では、被保険者数の増などにより保険料が前年度に比べ8千4百58万7千円の増となり、歳出では、広域連合納付金が前年度に比べ1億6千96万1千円の増となりました。

なお、後期高齢者医療制度の小平市の対象者は約2万1千2百人です。

【介護保険事業特別会計】

歳入総額百21億3千5百8万円、歳出総額百18億6千98万5千円、実質収支は2億7千4百9万5千円となりました。

歳入では、介護保険料等の増

により前年度に比べ2・7%の増となり、歳出では、9割以上を占める保険給付費が1・9%の増となりました。

第1号被保険者数は4万3千4百47人、要介護、要支援の認定者数は8千2百27人となり、ともに前年度より増加しました。

第1号被保険者数はほぼ計画値に沿った増加となっていますが、認定者数は例年より伸び率が低くなっています。

【下水道事業特別会計】

歳入総額43億3千6百65万円、歳出総額40億8千3百57万1千円、実質収支は2億5千3百7万9千円となりました。

下水道長寿命化基本構想に基づき調査を実施するとともに、その結果に基づいた対策工事に着手しました。また、下水道総合地震対策計画に基づき、引き続き、避難所となる小・中学校7校及び公民館1館にマンホールトイレを設置するなど、計画的に進めています。

●一般会計決算特別委員会

○委員長 ○副委員長

○小林 洋子 ○平野ひろみ

蛇川 浩 磯山 亮

伊藤 央 木村まゆみ

佐藤 徹 佐藤 充

竹井ようこ 宮寺 賢一

山岸真知子 山崎とも子

吉本ゆうすけ

●特別会計決算特別委員会

○浅倉 成樹 ○永田 政弘

石毛航太郎 小野 高一

川里 春治 吉瀬恵美子

さとう悦子 津本 裕子

中江 みわ 橋本 久雄

日向美砂子 細谷 正

幸田 昌之

政 務 活 動 費 収 支 報 告

平成28年度の政務活動費について、収支を報告します。

政務活動費とは、地方自治法第100条第14項から第16項まで及び小平市議会政務活動費の交付に関する条例の規定により、議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として、議会における会派に対して交付されるものです。

会派の所属議員数に応じ、1人当たり月額3万円をかけた金額がその年度に交付されます。交付を受けた会派には、年度終了後に政務活動費収支報告書を提出することが義務づけられています。

平成28年度 会派別収支状況

単位：円

経費項目		説 明	会派名・人数（平成29年 3 月31日現在）							合 計	
			市議会 公明党 6 人	フォーラム 小平 6 人	政和会 5 人※ 1	日本共産党 小平市議団 4 人	生活者 ネットワーク 3 人	緑の党 こだいら 1 人	ムサシ 1 人※ 2		都民ファース トの会小平 1 人※ 3
交付決定額（A）			2,160,000	2,160,000	2,550,000	1,440,000	1,080,000	360,000	270,000	30,000	10,050,000
支 出	調査研究費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費	730,637	839,740	951,714	52,348	254,158	0	0	0	2,828,597
	研修費	会派が研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費	563,616	74,394	0	68,918	122,328	26,198	0	0	855,454
	広報費	会派が行う活動及び市政について市民に報告するために要する経費	182,820	630,063	103,650	587,520	358,641	238,276	0	0	2,100,970
	広聴費	会派が行う市民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、市民相談等の活動に要する経費	0	0	25,000	2,100	0	0	0	0	27,100
	要請及び陳情活動費	会派が要請及び陳情活動を行うために必要な経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	会派が行う各種会議を開催するために必要な経費及び団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費	346	17,830	7,882	197,875	7,732	0	0	0	231,665
	資料購入費	会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費	66,610	114,737	86,724	109,140	194,748	87,381	0	21,384	680,724
	人件費	会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	会派が行う活動に必要な事務所の設置及び管理に要する経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計（B）			1,544,029	1,676,764	1,174,970	1,017,901	937,607	351,855	0	21,384	6,724,510
返還額（A－B）			615,971	483,236	1,375,030	422,099	142,393	8,145	270,000	8,616	3,325,490

※1 平成28年6月及び平成29年2月にそれぞれ議員1人が退会、平成29年2月に議員1人が辞職したため、交付決定額が330,000円減額となりました。

※2 平成28年6月に会派が結成されました。

※3 平成29年2月に会派が結成されました。

市政を問う 一般質問要旨

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。一般質問（要旨）につきましては、議員ごとにまとめたものを掲載しております。

これまでの会議録は、小平市議会ホームページで、閲覧・検索ができます。動画もご覧になれます。



地域防災力のさらなる向上を目指す／市道及び橋梁の安全管理

佐藤 徹議員（市議会公明党）

地域防災力のさらなる向上を目指す

市道及び橋梁の安全管理を問う

質問 ①市職員の緊急初動要員訓練では自主防災組織等との日ごろの連携が重要だが見解は。

②災害発生時の夜間の情報伝達・避難誘導ツールとして発光型掲示板アンブルボードの導入の検討を開始すべきだが見解は。

質問 ①市が管理する橋梁の床板劣化による抜け落ち予防調査の直近の調査結果と評価は。

②インターロッキングブロック歩道維持管理の現状と課題は。

市長 ①全200橋のうち7橋が早期に措置すべき状態であった。適正な橋梁管理の観点から重く受けとめている。今後も定期的な点検等安全確保に努めていく。

②道路パトロールなどで破損が確認されたブロックの取りかえなど行っている。課題は車両の出入りが多い乗り入れ部の破損等が多発している状況である。

②災害時に停電が発生した夜間の情報提供等に役立つほか、耳が聞こえない人などへの案内が可能になると認識しており、今後も導入に向け検討していく。

▼インターロッキングブロック



歯科検診の実態と就学援助の医療費援助について

吉瀬恵美子議員（日本共産党小平市議団）

就学援助制度の医療費援助の実態と子どもの貧困対策の拡充

質問 要治療と診断されながら治療していない子どもの背景を捉え、子どもの貧困の実態をリアルにつかむ視点で、どのように対応しているか。

教育長 ネグレクト等の虐待も考えられるので、家庭状況を総合的に捉え配慮するよう心がけている。学校では教員が子どもの様子や変化を把握し、適宜、声をかけ相談に応じている。

市長 ひとり親等の事情で養育が行き届かないことなどが考えられる。要保護児童対策地域協議会を設置し、小平市医師会等

に所属してもらっている。虐待、養育の支援が必要な児童と家庭の発見等の意識啓発を行い関係機関相互の連携を強化していく。

小・中学校での歯科検診の結果と子どもたちへのフォローについて

質問 歯科検診の結果、歯の健康状態をいかに認識しているか。

教育長 小学校6年生の平均の永久歯虫歯数はここ数年横ばいの1本以下、中学生は有病率が上昇傾向で、食生活等の拡大や多忙な日常と重なり、口腔ケアが不十分になることが要因となる。今後も検診を通し、みずから健康を守り増進できる児童・生徒の育成を目指していく。



自ら健康をつくるきつかけに健幸インセンティブを活用しよう

小野高一議員（政和会）

人生楽しく生きるために健康寿命を延ばそう

質問 ①こだいら健康増進プランにおける食・栄養の分野に、具体的にはどう取り組むのか。

②生活習慣病を予防する足立区の、そうだ野菜を食べようというベジタバライフ事業の取り組みを市として検討できないか。

③運動習慣を身につけ、継続を促すための動機づけとしての報酬等について、どのような展開を検討しているか。

市長 ①市報に1日に350gの野菜を摂取するための啓発記事を掲載する。このほか、JA東京むさし等の関係機関との連携や

さまざまなイベントへの参加など、健康事業以外の場も活用し普及啓発に取り組んでいく。

②各種健康診査の受診率の向上を図るとともに、食の面から高血圧、糖尿病等の予防に取り組んでいる。引き続き、足立区の事例等も参考にしながら、より効果的な事業を研究していく。

③運動習慣の意識づけや継続をしてもらうための手法の1つとして、環境の整備とともにインセンティブを活用することは、一定の効果があるものと認識している。全国的にも多くの自治体の実施例がふえていることから、これらを参考に、より効果的な仕組みを検討していく。



高校生へ労働対価としての経済支援制度を／仮設住宅は十分か

伊藤 央議員（ムサシ）

経済的な不安を抱える高校生への支援について

質問 ①小平市在住の高校生の貧困率は。

②高校生がいる経済的に苦しい家庭への支援制度は。

③公共施設で高校生をアルバイトとして雇い報酬を学費等に充てる制度は考えられないか。

市長 ①市独自のデータはない。②生活保護世帯に対して、入学金、授業料、学用品費などを支給しているほか、都の補助金を活用し、学習塾費用や大学受験料の支給を行うなどしている。

③高校生を臨時職員として任用することは可能である。賃金



子どもたちの居場所を広げよう／動物殺処分ゼロを進めよう

幸田昌之議員（市議会公明党）

保護者が安心できる子どもたちの居場所を広げよう

質問 ①児童館は小学校区ごとに必要と考えるが市の見解は。

②児童クラブの全学年受け入れについての見解は。

市長 ①児童の健全育成のため児童館の必要性は認識している。子ども広場と児童館で地域的なバランスを図るよう努めている。

②待機児童を出さないことを最優先とし、障害児は全学年、小学3年生までは定員を超えて受け入れている。全学年の受け入れはさまざまな課題がある。

動物殺処分ゼロの施策をさらに進めよう

質問 ①動物愛護団体と協力して犬猫の譲渡会を開催しては。

②飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費助成の実績は。

市長 ①まずは東京都動物愛護相談センターが実施している譲渡事業の情報収集と必要な人への情報提供に努めていく。

②昨年度、本年度8月末現在それぞれ不妊手術16件、7件、去勢手術17件、7件、補助金額は14万7千円、6万2千4百円。

【掲載分以外の質問項目】
○市民にとっての生活道路の整備を進めよう



小平市の観光まちづくりについて／結婚支援

中江みわ議員（フォーラム小平）

小平市が目指す観光まちづくりの発展を問う

質問 ①こだいら観光まちづくり協会の役割とは何か。

②特産品を一堂に取りそろえた販売施設が必要だが見解は。

③市の認知度等を高めるため市内外にPRする取り組みは。

市長 ①訪れたい、住み続けたと思う魅力あるまちづくりの推進等の役割を担っている。

②JA東京むさし小平ファーマーズ・マーケットがアンテナショップの機能を有している。

③こだいら観光まちづくり協会が構築したポータルサイトなどで、認知度向上に努めている。

結婚支援の充実について

質問 ①結婚支援について現在行っていることと今後の展望は。

②市独自のオリジナル婚姻届を実施しないのはなぜか。

③ルネこだいらなどを提供した結婚式の開催について見解は。

市長 ①昨年度はペアダンスの出会いのイベントを行った。より効果的な支援を検討していく。

②民間業者等のホームページから独自の婚姻届がダウンロードできるので考えていなかった。



不発弾に対する認識と
処理の考え方について

石毛航太郎議員（フォーラム小平）

不発弾に対する認識と
処理の考え方について

質問 ①第二次世界大戦中の小平町に幾度も空襲があり、市内でも過去には不発弾が発見され処理されたことが、小平市30年史に記載されている。市内で撤去された不発弾はどれくらいあるか、また処理の費用は誰が負担したか。

②市内に不発弾がどれくらい残っていると想定されるか。
③不発弾処理に要する費用負担についてどう考えているか。

市長 ①昭和47年度及び昭和48年度に合計5発、市が不発弾処理を行っている。処理の費用に



がん検診の受診率等の向上を／
女性活躍推進のため啓発推進を

津本裕子議員（市議会公明党）

いのちを守るがん検診の受診率の向上と精度を高めるために

質問 ①30代乳がん検診の実施について見解は。

②小・中学生へのがん教育が非常に重要だが、実施状況は。

市長 ①近年、若年者の乳がん死亡事例が取り上げられていることは認識している。国の指針では対象が40歳以上だが、30歳代の検診についても視触診による検診を引き続き実施していく。

教育長 ②小平第十二小学校では26年度から学級担任と養護教諭が連携し、保健の授業でがん教育に取り組んでいる。今後も指導方法等の研究を進めていく。



小平市の防災機能をより高める
ために／特別支援教育について

さとう悦子議員（生活者ネットワーク）

小平市の防災機能をより高めるために

質問 ①木造住宅密集地域現況調査の目的と調査場所は。

②通電火災防止の感震ブレーカー設置について市の認識は。

市長 ①震災時に延焼被害のおそれのある地域の課題解決手法等の検討が目的で、都の指標で抽出した7町丁目が対象である。

②停電復旧後の通電による出火を防止し、被害を軽減する機会を捉え、PRに努めていく。
③災害時の生活用水としての使用と浸水被害の低減が期待される。



国連での核兵器禁止条約の採択
の意義／高齢者の安心のために

木村まゆみ議員（日本共産党小平市議団）

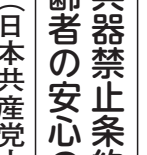
国連での核兵器禁止条約の採択を受け、今後の平和施策を問う

質問 ①国連での核兵器禁止条約採択の市の受けとめは。

②平和首長会議の確認事項は。

市長 ①市民社会の諸団体、被爆者が核兵器廃絶のため活動を続けてきた成果と認識している。

②核兵器のない世界の実現と、安全で活力のある都市の実現に取り組むことを掲げた平和首長会議行動計画が議決された。
③市民が自主的、自発的に行動を起こす活動を、引き続き側面的に支援していく。



再び、生活の基本である住まい
の保障／道路や歩道の整備

平野ひろみ議員（生活者ネットワーク）

高齢になっても安心して暮らせるように

質問 ①介護予防レベルより介護度が進んでいる人へ切れ目のない支援が行われているか。

②高齢者のしおりに移動サービスと生活保護の案内を。

市長 ①地域包括支援センターがケアマネジャー等と調整し切れ目なくサービスマン提供している。

②次回見直しの際、検討する。
③慎重な検討が必要と考える。

【掲載分以外の質問項目】
○高齢者肺炎球菌ワクチン接種をさらに広げ、命を守るう



医療費適正化財源で感染症予防／
姉妹都市締結40周年小平町交流

蛇川浩議員（市議会公明党）

医療費の適正化でロタウイルス
ワクチン助成等の実施を

質問 ①28年度乳幼児医療費助成制度のペナルティー金額は。

②ロタウイルス感染による市の経済的負担は。また半額助成、接種率50%とした場合コストは。

③公費助成のため30年度からの減額調整廃止で確保される財源活用を検討すべきだが見解は。

市長 ①約1千60万円である。

②乳幼児5千人が通院治療費5万7百17円と仮定すると2億5千4百万円。ゼロ歳児は1千6百17人でコストは1千万円から1千百万円と推定される。

③慎重に検討し、国の動向を



医療費適正化財源で感染症予防／
姉妹都市締結40周年小平町交流

蛇川浩議員（市議会公明党）

医療費の適正化でロタウイルス
ワクチン助成等の実施を

質問 ①28年度乳幼児医療費助成制度のペナルティー金額は。

②ロタウイルス感染による市の経済的負担は。また半額助成、接種率50%とした場合コストは。

③公費助成のため30年度からの減額調整廃止で確保される財源活用を検討すべきだが見解は。

市長 ①約1千60万円である。

②乳幼児5千人が通院治療費5万7百17円と仮定すると2億5千4百万円。ゼロ歳児は1千6百17人でコストは1千万円から1千百万円と推定される。

③慎重に検討し、国の動向を



生物多様性地域戦略／主権在民
の憲法にふさわしい道徳教育

橋本久雄議員（緑の党こだいら）

生物多様性地域戦略の策定は
市民団体と協働で行うべき

質問 ①計画のスケジュールは。

②市民団体などとの協議は。

③玉川上水は都の管理なので調査対象に入れないのか。

市長 ①前期の環境基本計画に位置づける必要があるが、スケジュールは決まっていない。

②豊かな自然環境と生き物との関連性に気づき、将来にわたって保全していくためには市民・事業者・市との協働の取り組みが重要なので、さまざまな主体との協議を検討していく。

③調査箇所等は現在のところ決まっていない。



再び、生活の基本である住まい
の保障／道路や歩道の整備

平野ひろみ議員（生活者ネットワーク）

再度、生活の基本である
住まいを保障する

質問 ①単身高齢者、障害者、ひとり親、生活保護受給者のうち住宅確保要配慮者として把握している世帯数は。

②無料低額宿泊所の数と利用人数は。無料低額宿泊所入居の長期化が問題だが市の取り組みと見解は。

市長 ①単身高齢者、障害者、ひとり親については把握していない。生活保護受給者については27年度は二千百30世帯である。

②29年9月1日現在では2か所利用者は5人である。生活習慣が整っている利用者には希望

を確認しながらアパート等への転宅支援を行っている。

道路や歩道の整備について

質問 ①あかし通り歩道の路面のうねりの原因と対処は。

②ゾーン30指定箇所について、取り組み実態と今後の展開は。

市長 ①二セアカシアの根上がりにより生じる。市民まつり前の修繕や、街路樹の見直しに合わせて解消していく。

②標識や看板、路面標示を設置し、回田町等で整備している。小平警察署から、今後も地域の要望を踏まえて区域の指定を行っていくと聞いている。



▶昭和47年12月20日発行の市報こだいら第249号より抜粋



小平市東部地域の課題と
今後の空き家対策について

川里春治議員（政和会）

小平市東部地域の
課題について

閉鎖し、取り壊す予定である。

今後の空き家対策について

質問 ①東部地域に新しい人が来る中、今までの地域コミュニティとどう結びつけていくか。
②花小金井武道館の今後はどうなるか。

質問 ①市の空き家相談窓口の利用件数はどうなっているか。
②今後の空き家対策についての考え方、方向性は。

市長 ①転入者に窓口で自治会の案内チラシを配付するほか、住宅開発事業者への自治会情報の提供など既存自治会への加入を促す取り組みを行っている。
②現在、耐震補強工事を完了し9月から利用を再開している。花小金井南中学校地域開放型体育館の供用開始後に、花小金井武道館の機能を一部移転した後、



障がい者を含めたインクルーシブ
防災／受動喫煙防止対策

山崎とも子議員（生活者ネットワーク）

障がい者を含めた
インクルーシブ防災について

質問 ①防災倉庫の備品の中にコミュニケーションボードを準備しているか。
②災害時、トイレの問題は重要だが、視覚障害者や車椅子利用者に配慮はされているか。
③避難所において手話通訳者や要約筆記者の派遣要請に応じることができるか。

市長 ①関係機関と作製に向けて協議している。
②避難所運営の中で救護支援班を設け個別に相談を受ける等、要配慮者の不安解消に努める。
③できる限り早期に派遣でき



命の連鎖をつなぐ取り組みほか

小林洋子議員（フォーラム小平）

救命の連鎖をつなぐ
バイスタンダーをふやすには

質問 ①市内で救急救命の講習会は年に何回実施されているか。
②発災時、中学生の活躍が期待されるが、取り組み内容は。
③救命の連鎖を途切れさせないために市でできることは何か。

市長 ①小平消防署は263回、受講者1万2千51人。市は市民対象のAED講習会を2回、職員対象の講習会を6回実施した。
②自分の命だけでなくほかの人の命を守る役割があることを踏まえ、指導している。
市長 ③市民が正しい知識等修得できるよう消防署と連携する。



健康都市宣言で健康施策の展開
を／中学校に防災部の設置を

山岸真知子議員（市議会公明党）

健康都市宣言を生かし
具体的な健康施策を展開しよう

質問 ①健康都市宣言は宣言文を策定し広報すべきだが見解は。
②市民が運動等に取り組むための環境づくりなどが必要だが、課題と今後の施策展開は。

市長 ①健康増進プランに掲げる目標等の達成が、健康都市の実現になるため、新たに宣言文を策定することは考えていない。
②運動習慣がない若年層等へのきつかけづくりなどが課題である。イベントなどの運動機会の提供とともに、こだ健体操の実践者をふやしロコモティブシンドローム予防に努めていく。



豪雨対策／子どもの読書活動推進
と学校図書館の整備充実等

宮寺賢一議員（政和会）

豪雨による災害への
対策について

質問 ①道路冠水歴や浸水被害歴のある場所の豪雨時の対応は。
②都市型水害等に備えた地域の水防演習の充実強化と小平消防署との連携体制は。

市長 ①あらかじめ職員を派遣し、雨水集水ますの詰まりを予防するための清掃を行っている。
②水防演習は、小平消防署との打ち合わせの中で内容を決定している。救出救助訓練等は毎年内容をアレンジすることで、防災力の充実強化を図っている。小平消防署とは適宜連絡を取り合い、人命救助活動が必要な場合、出動の要請を行っている。



推進員制度の活用／たかの街道
の安全管理と歩道整備について

吉本ゆうすけ議員（フォーラム小平）

地域健康づくり推進員を初めと
した推進員制度の活用について

質問 ①市民及び市が一体となつて取り組むために、地域健康づくり推進員から出た意見等をどのように受けとめているか。
②推進員の募集について、申し込み期間の撤廃することや、定期的に応報活動を行うなど、柔軟に対応すべきだが見解は。

市長 ①全ての意見を取り入れるのではなく、健康施策を進める上で必要と判断したものを積極的に取り入れていく。
②今後の推進員の活動状況等も踏まえながら、募集期間の設定等について研究していく。



花小金井武道館の
廃止は見直すべき

磯山 亮議員（政和会）

花小金井南地域開放型体育館の
建設にかかわる経過について

質問 ①花小金井武道館の存続を望む声が多くあるが、存続しないことを決定した理由は。
②花小金井南中学校地域開放型体育館建設に当たり、花小金井武道館廃止を撤回し新しい基本方針を策定すべきだが見解は。

市長 ①公共施設マネジメントの観点を踏まえ、閉鎖、取り壊し、機能の一部を移転することにした。武道館の敷地は都市計画公園として決定されており、存続・建てかえは考えていない。
②花小金井武道館の閉鎖、取り壊しの撤回や新たな基本方針

の策定は考えていない。
商業の振興を通じて、活気ある町をつくらう

質問 ①チャレンジショップ事業は、直接創業に結びつく効果の高い事業である。拡充してはどうか。
②創業支援、商業振興などの観点から、市でオリジナル移動販売車などを購入し、市民に貸し出してはどうか。
市長 ①応募機会の増などの改善を図っていることから、当面は事業の経過を見守っていく。
②店舗等を構え、地域に根差した起業の支援等を考えているため、購入は考えていない。



▲小平市立花小金井武道館



空き家等の課題／農業の課題／国民健康保険制度が変わる影響

細谷 正議員 (日本共産党小平市議員)

住まいについて幾つかの課題に対する市の取り組みは

質問 空き家等対策に、今後市役所内に窓口を設けてはどうか。

市長 協定締結により、空き家等について問題を抱える所有者に対し、相談内容に応じた窓口を紹介できるようにした。協定締結後まだ間がなく、現在新たに窓口を設ける考えはない。

小平農業の課題と発展について

質問 市の考える農業公園は市民が親しむものになっているか。

市長 市内には、農業公園はないが、小平ふるさと村、農業体験農園など、既に農業公園の機能を有する農園等があり、多くの市民に農に親しんでもらえているものと認識している。

国民健康保険制度が変わり、市民にとって変わることは

質問 国が示した改定国民健康保険事業費納付金ガイドラインと標準保険料率の第3回試算との関係は市にどう影響するか。

市長 7月にガイドラインが改正され来年度からの公費の拡充内容が示された。国の見解では保険料の激変緩和策拡充等で保険料の伸びを一定範囲にとどめる方針と聞いている。市への影響は現時点では把握していない。



ICTを用いた取り組み／中学校の部活動外部指導員

永田政弘議員 (政和会)

ICTを用いた先進的な取組研究発表会から見えてきたことは

質問 ICTを用いた基礎・基本の充実及び先進的な取組研究発表会から見えた課題と成果を今後の教育にどう活用するか。

教育長 課題は、ICT機器の特性を教員が理解し、効果的な活用方法のさらなる研究を深める必要があることなどである。成果は児童の学習意欲向上等で、教員にとっては、児童の学習状況を把握しやすくなることなどである。これらを踏まえ主体的・対話的で深い学びを実現する授業を展開するために、先進事例に基づきICT機器を活用して



不登校の子どもたちの学び／学童卒後の居場所／防災気象情報

竹井ようこ議員 (フォーラム小平)

不登校の子どもたちの学びについて

質問 ①不登校の子どもたちの学ぶ機会の確保策は。

②不登校の児童・生徒がIT等を活用した学習活動を行った場合は出席扱いとする平成17年の文部科学省の通知について、具体的に行為されていることは。

教育長 ①教育支援室の設置のほか、学校でも教室以外で学習できる場所の設置等を行っている。

②IT等を活用した学習活動を行っている児童・生徒がおらず事例はないが、今後申し出があれば適切に対応する。

学童クラブを卒所した子どもの長期休業の居場所について

質問 ①学童クラブの対象を小学6年生まで拡大することについて市の考えは。

②長期休業中のみの4年生から6年生の受け入れや、一時利用を設けることへの市の考えは。

市長 ①待機児童を出さないことを優先し3年生までは定員を超え受け入れており、現状では難しい。

②長期休業中に限った受け入れ、一時利用の対応は難しい。【掲載分以外の質問項目】



公園都市こだいらのまちづくり／カラーユニバーサルデザイン

浅倉成樹議員 (市議会公明党)

さくら花咲くプロジェクト等による公園都市こだいらについて

質問 ①桜を観光資源として位置づけ、桜のまちこだいらをアピールすることについて考えは。

②西武多摩湖線沿線にアジサイを植え、公園都市としてアピールすることについて考えは。

市長 ①名勝小金井サクラなどは貴重な観光資源と認識している。既に観賞会の開催等をしており、引き続き市内の桜を楽しんでもらえるようPRしていく。

②どの沿線の敷地内も日当たりのよく、アジサイの植栽に向かない環境であるため、あじさい公園での植栽を充実していく。



家庭ごみの有料化／小平駅南口ロータリーの花壇を憩いの場に

佐藤 充議員 (日本共産党小平市議員)

家庭ごみの有料化について

質問 ①市の実施計画の策定について、現在の検討状況は。

②市民の中で十分な議論、納得と合意を図ることについて、現在検討している課題と方法は。

市長 ①小平市一般廃棄物減量等推進審議会や庁内委員会での意見などを踏まえて、実施計画素案の策定を進めている。

②全市民にかかわるので、一人一人に丁寧に説明する必要があると認識している。説明会を12回設定し、きめ細かに説明すると同時に、自治会等にも積極的に訪問したいと考えている。

小平駅南口ロータリー中央の花壇を市民の憩いの場に

質問 ①小平駅南口広場ロータリーの中央を花壇にした経緯は。

②市民が花を近くで親しめるよう、花壇全体の周りに遊歩道等のスペースを設置できないか。

市長 ①あかし通りグリーンロード化基本計画策定の際の市民意見を参考に、24年5月の全日本花いっぱい小平大会に合わせ植栽帯を花壇に改修し、100人を超える花植えボランティアにより花壇へと改善した。

②現在、花壇を改修する予定はないが、提案の内容は次の改修の際、参考とする。



自治基本条例の検証を市民参加で／子ども施策に「遊び」を

日向美砂子議員 (生活者ネットワーク)

自治基本条例を検証し参加と協働の前進で元気な小平を

質問 ①受益者負担の適正化の方針にある公共性の高い団体は、協働の推進に関する指針との関連でどう捉えるか。

②参加や協働において、担い手の育成や支援をどう考えるか。

③自治基本条例の検証と見直しを市民参加で行うべきでは。

市長 ①指針における協働の主体となるボランティア団体・市民活動団体などと類似する部分はあると捉えている。

②引き続き育成・支援する。

③検証のあり方や手法を研究する。見直しは考えていない。

子ども・若者計画の策定で子どもがのびのびと育つ小平を

質問 ①子どもの貧困を新たな施策に位置づけるか。

②市や教育委員会の行政計画に子どもの遊びの言葉はあるか。

市長 ①計画に位置づける。

②現行の青少年育成プランには、児童館、子ども広場、プレイパークなどを遊び場、遊びを通した体験・交流活動を提供するものとして掲げている。

教育長 ②学校の遊び場開放等で、子どもたちに安全・安心な居場所として遊びの場を提供するとの記載がある。



小平駅南口ロータリーの花壇

用語の解説

※1 えろぼしとは

女性活躍推進法に基づき認定を受けた企業に使用が認められる認定マークのこと。女性管理職比率等の基準に準じて、三段階の認定に分かれる。

※2 乳幼児医療費助成制度のペナルティーとは

国が行っている国民健康保険の国庫負担金等の減額調整のこと。地方自治体が生計に医療費の自己負担分を独自に減額または無償化することにより、受診が波及して増加しているという認識のもと実施している。

※3 ゾーン30とは

生活道路の特定の区域(ゾーン)に対し実施する警視庁

の交通安全対策のこと。ゾーン内での自動車の走行速度を時速30キロ以下に制限するなどし、歩行者等の安全な通行を確保する。

※4 バイスタンダーとは

けが人や急病人が発生した場合、その付近に居合わせた人のこと。

※5 JISとは

Japanese Industrial Standardsの略で、日本工業規格のこと。このうち、高齢者や障害者を含めた人が使用端末等に関係なくウェブコンテンツを利用できるようにするための基準として、レベルA、レベルAA、レベルAAAの3つの達成基準が定められている。

請願



9月定例会では請願2件を新たに受理し、左記のとおり閉会中の継続審査としました。

閉会中継続審査の請願一覧

厚生委員会

請願第9号

HPVワクチン副反応被害者救済及び支援と接種者への健康調査を求めることについて

請願第10号

HPVワクチン副反応被害の問題解決を求める意見書の提出について

意見書

9月定例会では1件の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。（要旨）

意見書とは、地方公共団体の公共の利益に関することについて議会としての意思を意見としてまとめ、国会または関係行政庁に文書で提出するものです。（地方自治法第99条）

主権者の政治参加を促進するため、国政・地方選挙における高額な供託金制度の見直しを求める意見書

現在、我が国で国政・地方選挙に立候補するためには、高額

の供託金が必要になっています。特に国政選挙の供託金は、選挙区で3百万円、比例区で6百万円を要し、これは世界一高い額であり、没収点も高いことから、国政選挙への立候補の障壁は極めて厳しくなっています。

立候補の自由に関しては、これまでの司法判断においても選挙権の自由な行使と表裏の関係であり、自由かつ公正な選挙を

して、供託金ではなく、スイスやスウェーデンなどで導入されているように、一定数の支持者署名の提出を立候補の条件とする方法などもあります。

我が国では、去る平成27年6月、若い人々の政治参加を拡大、保障するため、選挙権年齢を18歳以上に引き下げる改正公職選挙法が成立し、学校など教育現場でも主権者教育が取り入れられるようになっていきます。主権者は、選挙への投票だけではなく、立候補を含めたさまざまな主権を行使する主体であり、その主権行使を阻害する可能性のある制度は検討し直す必要があります。

よって本市議会は、国会及び関係行政庁に対し、より広い主権者の政治参加を促進するため、国政・地方選挙における高額な供託金制度の見直しを求めます。衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣あて

朝鮮民主主義人民共和国の核実験に抗議する声明

朝鮮民主主義人民共和国は9月3日、6度目となる核実験を実施したと発表した。また、その規模は、過去最大規模であるとみられる。

この行為は、国際社会で高まる核廃絶の声に真っ向から対立するものであり、核兵器及び既存の核計画の放棄を求めた国際連合安全保障理事会の決議を踏みにじるものである。

我が国は世界で唯一の被爆国であり、核兵器の廃絶を基本とした世界の恒久平和の実現は市民の願いである。小平市議会においては、昭和58年に全ての国の核兵器に反対し、非核三原則

を堅持し、人類永遠の平和のため努力することを決意して非核都市宣言をした。また、戦後60年に当たる平成17年には非核平和都市宣言を議決し、核兵器廃絶と世界平和の実現に取り組んでいる。

このような願いに反し、朝鮮民主主義人民共和国により繰り返される核実験の強行は、世界の核廃絶の気運の高まりに逆行する無謀な暴挙であり、断じて容認することはできず、強く非難する。

よって小平市議会は、今回の核実験に強く抗議するとともに、今後、日本政府においては、国際社会が一致した対応をとるために主導的な役割を果たすよう強く求めるものである。

平成29年9月5日

市民と議会の意見交換会を4会場で開催します

9月定例会の報告と、各常任委員会が進めている政策課題調査について市民の皆さんと意見交換を行います。詳しい内容は以下のとおりです。ご参加をお待ちしています。

小平の未来を考える

日時：11月2日(木) 19時から
場所：小川西町公民館
学習室1、2（ホール）
担当：総務委員会班

食べてますか？小平の野菜

日時：11月4日(土) 10時から
場所：天神地域センター
第一、第二集会室
担当：生活文教委員会班

みんなでつくろう夢公園

日時：11月4日(土) 19時から
場所：小川東町地域センター
第一、第二集会室
担当：環境建設委員会班

住み慣れた地域でいきいきと暮らしたくするため

日時：11月6日(月) 19時から
場所：上水本町地域センター
第一、第二集会室
担当：厚生委員会班

※それぞれ2時間程度を予定しています

定員 各会場40人程度 ※当日直接会場へお越しください（先着順）
その他 手話通訳や難聴の方々の聴こえをサポートする磁気ループを準備
問合せ 議会事務局 042(346)9566

市議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会は定員の範囲内でどなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は市役所7階の議会事務局にお越しください。会議当日の午前8時30分から受け付けをしています。

なお、小平市議会では、本会議場傍聴席への磁気ループの設置と手話通訳者の配置を試行的に実施しています。（ご利用に当たっては、事前の申し込みが必要です。）

本会議は3月、6月、9月、12月の年4回開催しており、開会時刻は原則として午前9時です。本会議の日程等詳しいことは議会事務局までお問い合わせいただくか、市議会のホームページをご覧ください。

議場見学



《小学3年生》
○10月6日 上宿小76人

ありがき



9月定例会では、平成29年度一般会計補正予算（第3号）など、さまざまな議案について、活発な議論が交わされました。今後も市議会の活動について積極的にお知らせするとともに、よりわかりやすく親しみやすい紙面づくりに広聴広報特別委員一同努めてまいります。

お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。

〒187-1801 小平市小川町二丁目

1333番地

042(346)9566

FAX 042(346)9567